

労働力確保の取組事例 ごかせ未来キャリア協同組合（宮崎県五ヶ瀬町） R8.10作成

総務省の事業を活用し、中山間地域の活性化のため持続可能な産業形成を目指す

【設立の経緯】

- ・ごかせ未来キャリア協同組合の理事であり事務局長を務める西川倫立さんは、コロナ期に旅行代理店を早期退職し、以前から興味があった地域創生の仕事をするため、五ヶ瀬町の地域おこし協力隊として活動。町内では人材不足が顕著であると感じていた。
- ・地域協力隊の任期を終え、五ヶ瀬町ならではの魅力で何か出来ることはないかと考え、中山間地域全体の活性化を図る目的に「五ヶ瀬エンターテイメント株式会社」を設立。
- ・さらに、総務省の「特定地域づくり事業協同組合制度」の活用で労働力確保の取組ができることを知り、町の協力も得て令和7年6月に人材派遣組合「ごかせ未来キャリア協同組合」を設立。

【取組の概要】

- ・組合員は、農業（ぶどう及び野菜）・林業、製茶業、宿泊業、娯楽業など15事業者で構成。（令和8年8月末現在）
- ・職員は、10名が在籍しており、町内出身者4名、町外1名、移住者5名（令和8年8月末現在）
- ・派遣に当たっては、職員の意向を尊重し、派遣先と相談の上決定。
- ・若手職員にはスキル向上を目的に、全事業の経験ができるように工夫。
- ・職員、移住者や若手職員の効果的なキャリアアップを目的とし、コンサルティングや個人面談、研修会などを行っている。

【今後の事業展開】

- ・現在、職員は確保できており、今後、年間を通した継続的な派遣先（事業者）の確保が重要。どの事業者も人材不足は顕著であることから、マッチングのため事業者の掘り起こしを行いたい。
- ・派遣先での就職等に結び付けば、後継者不足も解消され、地域の活性化につながると考えており、今後の発展に期待している。

【派遣社員就労状況例】

※令和7年実績による例

職員名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	←茶園・農業→							←事務業務→				
B	←茶園・農業→			←飲食店・宿泊施設→				←スキー場管理業務→				
C	←農業→							←宿泊施設→				
(上段午前・下段午後)	←茶園・農業→							←事務業務→				

茶園・農業

農業

飲食店・宿泊施設

事務業務

スキー場管理業務

宿泊施設

【派遣先事業者】

株式会社緑碧茶園（五ヶ瀬茶園）



- ・当園は、有機栽培のため、4月から10月（収穫や除草作業等）までの繁忙期に派遣を依頼、現在、2名の職員を受入。
- ・派遣人材の受入れは労働力確保だけではなく、就農のきっかけづくりや将来の人の定着の機会として期待。

佐藤農園



- ・当農園は、ワイン用ぶどうの契約栽培を行っており、6月から10月（開花～収穫等）までが繁忙期となる。
- ・以前から人手確保に課題を感じており、繁忙期に「ごかせ未来キャリア協同組合」から1名の職員を受入。